

会誌「死の臨床」投稿規定

1. 論文の募集、投稿方法と採否

- 1) 本誌は死の臨床に関する論文を、「原著」「調査報告」「総説」「活動報告」「エッセイ等」として募集しております。他誌へ投稿・発表されていない論文をお寄せ下さい。
- (1)「原著」は、死の臨床に関する研究課題について、適切な研究手法を用いた研究による新たな成果を示すオリジナル論文です。
- (2)「調査報告」は、原著には及ばないものの、会員読者の参考になる新しい知見に関する報告となります。
- (3)「総説」は、死の臨床に関する主題について、先行研究を体系立ててまとめ、概説を行い研究動向や展望を示す論文です。
- (4)「活動報告」は、地域やグループでの死の臨床の実践・教育・研究活動報告となります。
- (5)「エッセイ等」は、死の臨床に関して比較的自由な形式での論考となります。
- 2) 著者は、共著者を含め当研究会会員に限りです。
- 3) 投稿に際しては、学術論文として必要な倫理上の配慮及び個人情報の保護がなされるようにして下さい。法的あるいは倫理的に審査が必要とされている研究については、論文内に所定の承認番号などを記載して下さい。論文作成に必要な倫理指針及び個人情報保護の詳細は、当研究会ホームページに掲載されている倫理規定で確認して下さい。
<https://www.jard-info.org/wp/wp-content/uploads/2019/07/rinrikitei1801.pdf>
- 4) 論文の採否は編集委員会で決定いたします。審査の結果、編集方針にしたがって原稿の加筆、削除、修正をお願いすることがあります。また、編集委員会の責任において多少字句の訂正をすることがありますのであらかじめご了承ください。
- 5) 論文は随時投稿をいただくことが可能です。採用論文はまず電子媒体にて公開され、その後、年に1度刊行予定の冊子体に掲載を行います。

2. 執筆要項

- 1)「原著」、「調査報告」、「総説」の原稿は、A4 版縦向き（20 文字×20 文字）、本文は 8,000 字以内（本誌仕上がり 6 ページ以内）にまとめて下さい。図表は 1 点を 400 字と換算して下さい。「活動報告」、「エッセイ等」の本文は 1600 字以内で、図表、写真の掲載も可（1 点まで。本文長さに含まれず。キャプションをつける）となります。和文抄録（300 字以内。活動報告では 200 字以内）および英文抄録（200 語以内）を作成し、和文と英文のキーワード（それぞれ 5 つ以内）を添付して下さい。英文は Native Speaker の校閲済サインを必要とします。活動報告は、英文のタイトル、キーワード、抄録を必ずしも必要としません。

	本文	図表（写真も可）	和文抄録	英文抄録
原著	8000字以内	図表は1点400字で換算し本文の文字数以内	300字以内	200語以内
調査報告	8000字以内	図表は1点400字で換算し本文の文字数以内	300字以内	200語以内
総説	8000字以内	図表は1点400字で換算し本文の文字数以内	300字以内	200語以内
活動報告	1600字以内	図表は1点まで本文に含まず	200字以内	不要
エッセイ等	1600字以内	図表は1点まで本文に含まず	不要	不要

- 2) 原稿の表紙（第 1 頁）に、論文の種別、日本語表記による表題、著者名、会員番号、所属機関名、著者連絡先（郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス）を記載して下さい。なお、この表紙（第 1 頁）は、本文（第 2 頁以降）の字数に含まれません。
- 3)「原著論文」、「調査報告」の形式は緒言、方法、結果、考察、結語、引用文献の順序にして下さい。
- 4) 原稿はファイル形式を Microsoft Word とし、フォントサイズ 10.5 ポイントでご作成下さい。
- 5) 原稿は横書き、専門用語以外は当用漢字、現代かなづかいを用いて下さい。改行の際は冒頭 1 字分を空けて書いて下さい。
- 6) 日本語化した外国語はカタカナで、外国人名、化学品名（薬品名は一般名）などの科学用語は原語を用い、大文字は固有名詞・ドイツ語名詞の頭文字に限りです。
- 7) 度量衡単位は mm, cm, mL, %, °C などの記号を用い、数字はアラビア文字で書いて下さい。また、数字、欧文はすべて半角で入力して下さい。
- 8) 図（写真も可）、表は、キャプションを付けたうえで 1 枚ずつ別に作成し、挿入箇所を本文中に明記して下さい。図はファイル形式を JPEG または Power Point で作成して下さい。表は Excel または Power Point で作成して下さい。
- 9) 本文原稿にはページ番号を入れて下さい。

3. 文献の記載

- 1) 文献は引用した重要なもののみとし（原則として 20 以内）、文中に引用順の肩付き番号を付け、本文の末尾に引用文献として番号順にまとめて下さい。
- 2) 著者が 4 名以上の時は 3 名まで記載し、その他は、和文の場合「他」、英文の場合「et al」と略記して下さい。
- 3) 文献の書き方は次のように統一して下さい。なお誌名は公の略称を、外国誌名を略記する場合は Index Medicus 所載に従って下さい。

〈雑誌の場合〉

著者名：題名．誌名 発行年：巻数（号数）：始頁 - 終頁．

例 1) 森田達也, 角田純一, 井上 聡, 他: 緩和ケアにおける家族・医療従事者間葛藤に関する予備的調査．死の臨床 1999；22（1）：81-87.

例 2) Peruselli C, Giulio PD, Toscani F, et al: Home palliative care for terminal cancer patients: a survey on the final week of life. Palliat Med 1999；13(3)：233-241.

〈単独ないし複数の著者による単行本の場合〉

著者名：書名．発行地（外国の場合のみ記入）：発行所：発行年：始頁 - 終頁．

例 3) 恒藤 暁: 最新緩和医療学．最新医学社；1999：257-270.

〈分担執筆で著者と編者が異なる単行本の中の 1 章の場合〉

著者名：題名．編集者名．書名．発行地（外国の場合のみ記入）：発行所：発行年：始頁 - 終頁．

例 4) 窪寺俊之: スピリチュアルケアと QOL. 柏木哲夫, 石谷邦彦 編. 緩和医療学. 三輪書店；1997：230-237.

例 5) Twycross R, Lichter I: The terminal phase. In: Doyle D, Hanks GWC, MacDonald N (eds). Oxford Textbook of Palliative Medicine. 2nd ed. Oxford: Oxford Medical Publications；1998：977-992.

〈ウェブページを引用する場合〉

著者名．題名．発行年．URL．アクセス年月日．

例 6) 指宿信. ネット文献の引用方法について—学術資源としてのネットの可能性. 2000[<http://www.ne.jp/asahi/coffee/house/ARG/054.html>]（2019 年 8 月 19 日アクセス）

4. 著作権と複写権

- 1) 他の文献より文章・図・表などを引用転載される場合は、あらかじめ著作権者の了解を得て下さい。
- 2) 本誌に掲載されることが決定した論文等の著作権は当研究会に帰属するものとします。

3) 当研究会は、当該論文等の全部または一部を本誌の他、当研究会のホームページ、当研究会が認めたネットワーク媒体、その他の媒体において、任意の言語で掲載、出版（電子出版を含む）できるものとします。

4) 著者所属機関の機関レポジトリに登載する場合には、当会の許可が必要であり、当会が正本と定める電子媒体の DOI を記載して、正本へのリンクをはかって下さい。

5. 投稿方法

- 1) 論文の投稿は、日本死の臨床研究会ホームページ内のオンライン投稿より行って下さい。オンライン投稿審査システム（Editorial Manager）へログインをした上で、システムの入力項目に従って入力を進めます。Editorial Manager のログイン画面の「著者マニュアル」を参考にして下さい。
- 2) オンライン投稿審査システム（Editorial Manager）の推奨環境についての最新情報は、以下のサポートサイトを確認して下さい。 <https://www.editorialmanager.jp/faq>
- 3) 投稿論文に関する連絡は、E-mail で行われます。

6. 別刷

掲載された論文の筆頭著者には、掲載誌 10 部を進呈します。

7. 問い合わせ先

一般社団法人 日本死の臨床研究会 事務局：
〒187-0012 東京都小平市御幸町 131-5 ケアタウン小平内
E-mail: office@jard-info.org

1989 年 11 月より施行（2021 年 11 月改訂）